

□ 豫 告

本書は第二篇以下を續々刊行の豫定なり。以下、着手中のもの次の如し。

- 第二篇 會 長河井法學士著 我國坑夫の行くべき道
- 第三篇 副會長石渡法學士著 我國坑夫の權利義務
- 第四篇 顯 同吉野法學博士著 勞働運動と民本主義
- 第五篇 顯 同今非法學博士著 勞働運動と普通選舉
- 第六篇 顯 同伊藤醫學士著 醫學者の勞働運動觀
- 第七篇 本部長坂島信次著 飯場制度論

序

本論文は嶺山の過去現在及び將來について社會學や經濟學の上から平素考へてゐたことを述べたのである。私は遊からずして勞働者の幸福になる時代の來ることを信するものである。此短い論文が坑夫諸君の智識に多少の貢獻をなすならば、私は大なる幸福を感ずる。

大正九年一月一日

本館樓上に於て

佐

野

學